

# さくら市議会だより

2012.11.1  
(平成24年)

発行 佐倉市議会 編集 広報公聴委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL484-6279 FAX486-2508  
佐倉市ホームページ <http://www.city.sakura.lg.jp> メールアドレス [gikai@city.sakura.lg.jp](mailto:gikai@city.sakura.lg.jp)

## 8月定例会

### 平成23年度決算など 38件を審議

市長提出議案 26件  
議員提出議案 8件  
陳情 4件

市長提出議案26件を

可決・認定・同意

佐倉市議会は、8月27日から9月24日までの29日間にわたり、8月定例会を開催しました。

今定例会には、「平成23年度佐倉市一般会計歳入歳出決算認定について」などの議案26件が市長から提出されました。

議案第1号から第9号までの平成23年度決算関連議案が、今定例会で設置された『決算審査特別委員会』に付託、審査されたほか、

その他の議案についても、常任委員会等の審査を経て、いずれの議案も、原案のとおり可決・認定・同意しました。

議員提出議案8件

陳情4件を審議

議員から、「自治体における防災・減災のための事業に対する国の財政支援を求める意見書」など議案8件が、市民等から、「『保育所の設置認可等の基準に関する指針』の内容を『県条例』にすることを求める意見書の提出を求める陳情書」など陳情4件が提出され、審議しました。

また、一般質問には、各会派の代表質問に5人、個人質問に15人が登壇し、市政について広範囲にわたる質問を行いました。

**決算審査特別委員会**  
委員長 川名部 実  
副委員長 井原 慶一  
委員 大野 博美 岩井 功  
橋岡 協美 松原 章  
上ノ山 博夫 小須田 稔  
岡村 芳樹 押尾 豊幸  
桐生 政広

## 平成23年度決算を審査

決算審査特別委員会は、9月18日から4日間にわたり一般会計歳入歳出決算など9議案について、行政効果ならびに費用対効果を中心に適正かつ効率的に執行されているか審査を行いました。

また、9月18日には馬渡保育園にて現地調査を行い、担当者より説明を受けました。

定例会の最終日には川名部実委員長が審査結果報告を行い、次の3点を要望いたしました。

- 一層の歳入確保に向け、市税及び国民健康保険税の収納率の向上に引き続き全力で取り組んで下さい。
- 産業振興策については、歳出規模が限られたものとなっていますが、重点施策として掲げている企業誘

致の実現のみならず、地域経済の実態を踏まえ、雇用対策を含めた、より現実味のある地域経済活性化施策を策定し、実施して下さい。

- 道路をはじめ社会資本の整備は着実かつ不断に行う必要がありますが、とりわけ防災、減災施策については、怠りなく、万全な備えに十分配意して下さい。また、通学路の安全対策については、喫緊の課題として重点的に取り組んで下さい。

### 平成23年度会計別決算の状況

会計名	歳入決算額(円)	歳出決算額(円)	差引残額(円)	
一般会計	43,838,733,970	41,137,160,767	2,701,573,203	
特別会計	国民健康保険	17,175,050,725	17,077,669,706	97,381,019
	公共用地取得事業	3,790,495	3,790,495	0
	下水道事業	2,503,737,051	2,404,224,439	99,512,612
	農業集落排水事業	22,562,922	22,551,500	11,422
	介護保険	8,458,410,249	8,451,805,350	6,604,899
	災害共済事業	6,100,767	2,102,089	3,998,678
	後期高齢者医療	1,343,949,204	1,339,536,102	4,413,102
会計名	事業収益(円)	事業費用(円)	純利益(円)	
水道事業	3,560,716,583	3,104,110,676	456,605,907	



決算審査特別委員会 審査模様  
(全員協議会室)



決算審査特別委員会 現地視察  
(馬渡保育園)

# 市政に関する

# 一般質問

一般質問とは、議員が議案に関係なく、市政全般にわたり質問することをいいます。

8月定例会では、9月3日から9月6日までの4日間にわたり、一般質問を行い、市政に対し活発な議論が展開されたので、その一部を掲載します。

## 一般質問要旨

※は持ち時間1時間、それ以外は30分。( )内は党派名。

### 代表質問

#### 望月 清義 (さくら会) ※

- 1 市長の政治姿勢について
- 2 市長の政治姿勢について
- 3 教育問題について
- 4 健康・福祉問題について
- 5 防災対策について
- 6 環境問題について
- 7 公共施設の更新問題への取組みについて

- 2 副市長の就任について
- 4 健康・福祉問題について
- 6 環境問題について

#### 柏木 恵子 (公明党)

- 1 いじめ問題について
- 2 地域力を高める共助の推進について
- 3 通学路の安全対策について

#### 伊藤 壽子 (市民ネットワーク)

- 1 市長の政治姿勢
- 2 福島第一原発事故による放射能問題について
- 3 (仮) 佐倉西部自然公園について

#### 岩井 功 (みんなの党)

- 1 市長の描くこれからの佐倉市

#### 上ノ山 博夫 (佐倉市民オンブズマン)

- 1 市政運営について
- 2 高齢者福祉について
- 3 市施設の適切な運用について

### 個人質問

#### 井原 慶一 (さくら会)

- 1 佐倉市のめざすものについて
- 2 構造改革について

#### 橋岡 協美 (さくら会)

- 1 高齢者福祉
- 2 航空機騒音
- 3 徴税業務

#### 川名部 実 (さくら会)

- 1 いじめ対策について
- 2 平和事業について

#### 岡村 芳樹 (公明党)

- 1 志津公民館建設と地域活性化策について
- 2 地域まちづくり協議会事業について
- 3 下志津小学校の耐震緊急避難措置問題について
- 4 市民サービスの向上と対応について

#### 久野 妙子 (公明党)

- 1 子育て支援について
- 2 まちの活性化について

#### 高木 大輔

- 1 介護ボランティア制度について
- 2 情報発信について
- 3 今後の航空機の騒音問題の取組みについて

#### 小須田 稔 (公明党)

- 1 安心・安全なまちづくりについて
- 2 健康・福祉について
- 3 ファシリティマネジメントについて

#### 森野 正 (公明党)

- 1 佐倉市の将来像について

#### 萩原 陽子

- 1 佐倉教育ビジョンについて
- 2 防災・減災対策について
- 3 学童保育所の指定管理は子ども達に有益か

#### 石渡 康郎 (さくら会)

- 1 高齢者福祉について
- 2 道路整備について

#### 五十嵐 智美 (市民ネットワーク)

- 1 安心して子育てできる施策について
- 2 災害時に援護が必要な人の避難対策について
- 3 音楽ホールの使用について

#### 大野 博美 (市民ネットワーク)

- 1 中小企業の活性化について
- 2 国民健康保険について
- 3 地域防災計画について

#### 冨塚 忠雄

- 1 後期高齢者医療保険等の保険料の算出方法について
- 2 公立保育園等の民営化問題について
- 3 国指定井野長割遺跡について
- 4 都市計画道路上志津・青宮線(国道296号バイパス)の交通安全施設について

#### 和田 恵子 (佐倉市民オンブズマン)

- 1 市長の政治姿勢
- 2 子育て支援について
- 3 国保料(税)の市民負担の低減について

#### 爲田 浩 (さくら会)

- 1 まちの安全、安心について
- 2 子どもたちの安全、安心について

◎上記の内容は、質問者から議長に文書で通告のあった内容に従い大項目のみ掲載しています。

## 代表質問

### 市長の政治姿勢

#### さくら会

#### 望月 清義

平成23年度決算の結果はどうであったのか。また、その結果を踏まえて今後どのように市を維持・発展させていくのか。

景気の影響などにより個人市民税は減収したが、国・県負担金や震災復興特別交付税などにより歳入全体では前年度比で0.9%増加した。歳出は扶助費の増加等により前年度比で0.2%増加。今後の財政運営については、引き続き持続可能な財政運営を堅持し、事業内容の見直し等により財源の有効活用を図る。

市内に順天堂大学の進出の話があると聞いたが大学側とはどのような話し合いがされたのか。

順天堂大学では印西市の「さくらキャンパス」が老朽化し、手狭であることから現在地の拡張を計画している。将来チャンスがあればその機能の一部を佐倉市に分散させるということも、選択肢としてあり得るが現状では佐倉市への進出について大学側からは明確な意思表示

### 公共施設の更新問題

今後の公共施設のあり方の基本方針はどう考えているのか。

公共施設の多くは建築から既に30年以上経過している。このままでは改修建て替え費用が膨大になることが予想され、少子・高齢化も考慮すると保有施設の全体を縮小するなかで適正な市民サービスの規模や資産の有効活用を検討する必要がある。

改築に当たっては市民活動の発表の場としての機能も確保すべきと考えるがどうか。

利用者からも要望が多いことから市民活動を発表する場としても活用できるように一定規模の部屋を多目的に利用できるようにしたり、共有スペースを展示スペースにも応用できるようにするなどスペースや配置を工夫し、施設の有効活用を図る。

## 公明党

#### 柏木 恵子

いじめ問題について 未然防止が重要であるほか、いじめで苦しむ子どもや親が相談しやすい

環境づくりのために、経験のある退職教員などを活用する緊急学校支援チームの設置など、今後の市の取り組みを伺う。

いじめや不登校等を含めた生徒指導に係る諸問題を扱うチームを、学識経験者、学校関係者、外部機関関係者(児童相談所所員・警察署員・病院関係者・保健所職員等)、市関係者(生徒指導担当主事・児童青少年課職員・学校教育相談員等)により構成し、対応していきたい。

緊急合同総点検結果を踏まえた具体的な対策、②今後の総点検の継続、③通学路カラー化の実施についてそれぞれ伺う。

①総点検結果を受け、対策案を検討し、関係機関へも要望しているほか、既に、ドライバーへの注意喚起のための電柱幕を13カ所、横断旗と横断旗入れを2カ所設置し、より安全な通学路確保のための対策を講じた。

### 再生可能エネルギー政策

再生可能エネルギーを活性化させ、再生可能エネルギーを活性化させ、再生可能エネルギーを活性化させる。

## 市民ネットワーク

#### 伊藤 壽子

世界の流れは脱原発であり、再生可能エネルギーが成長産業である。ありきたりな企業誘致ではなく、再生可能エネルギーを活かしたまちづくりが有望である。

長野県飯田市や高知県梹原町は長期ビジョンのもと、事業に取り組む、成功している。当市に合った再生可能エネルギーの調査が必要と考える。

予定はない。

### 省エネルギー施策

家庭内電力使用料が一目で分かる「省エネナビ」の貸出を。2014年から東電がスマートメーターを導入するので予定はない。

### 平和施策

福島16万県民が原発事故の被害を受け、18歳以下の子ども

## みんなの党

#### 岩井 功

佐倉市の財政について 公有財産の処分と活用は。売却や貸付も必要と考える。

さらに調査検討している。

広告事業としてネーミングライツを導入すべきでないか。検討してまいりたい。

行政評価による事業の選択と集中への取り組みは。効果的、効率的な行政運営のため評価結果を利用している。

### 市民活動について

大地震等の災害に備え、市内全地区での「地域まちづくり

### 産業振興について

観光型農業の取り組みは。農工商が連携し進めている。若手農業者が自立できるようにするため、市のコーディネートが必要ではないか。

技術の指導等育成に努める。印旛沼の親水性について 印旛沼の自然に親しみ水辺で遊べる環境整備の取り組みは。

引き続き関係団体と連携を図りながら改善や整備に努める。水質改善については。改善の取り組みを継続しつつ国や県に対策を要望していく。

## 佐倉市民オンブズマン

#### 上ノ山 博夫

職員の仕事が十分発揮できる職場とつながっているか? 連続して職員の方が亡くなった。精神的疾患等、職業ではどのような様な対応な

で休職しているケースもある。やむを得ず力を十分に発揮できないのは市民にとって不利益な状態。職場ではどのような様な対応な

### の

どの場合も個人の事情や性格、家庭の問題等と職場での問題が複雑に絡み合い病気になる傾向がある。個別の対応で今後ともより良い職場環境の構築に努めていく。職場の協力の中で対応している。市民に不利益はないと考える。

市長は鎌田氏の一人上の都合で自発的な退任と主張し続けているが、本人から「辞めさせられた」と直接聞いた市民もいる。もし鎌田氏の存在が市民にとって不利益で、それで辞めてもらったならそのように説明すべき。全く逆の話では市民は戸惑うし、不透明だ。

又聞きを公の議会で議論する事自体いかなるものか。又聞きだけでなく自ら本人から直接聞いており、自ら辞任したということではない。辞職届は本人が自発的に書いたのか、書かされたのか? 自発的に書かれたものだ。

又聞きを公の議会で議論する事自体いかなるものか。又聞きだけでなく自ら本人から直接聞いており、自ら辞任したということではない。辞職届は本人が自発的に書いたのか、書かされたのか? 自発的に書かれたものだ。

個人質問

佐倉市がめざすものについて

市長は、ワンランク高い都市を目指すとしているが、どのような都市像を目標としているのか？

品価格のある都市を目指している。

市町村合併についての市長の考えは？

現時点で合併の考えはない。

中核市や政令市は国や県の職員を統々と受け入れている。人材の確保のために制度や組織の整備をする考えはないか？

見直しを行う必要があると考えている。

部長の数が多くないか。その弊害として市政全体を見る姿勢に欠けるところはないか？

部長相当職数は他市と同程度。政策調整会議等を通じ市政運営の一体性を確保している。

航空機騒音に対する対応は。騒音低減策を要望していく。

県・市町連絡協議会を通して騒音低減策を要望していく。

航空機騒音についての市のホームページ掲載について。

環境部局からも検索できるように見やすいホームページの構成に努める。

市長が考える今後の市の高齢者福祉・介護の形について。

身近な地域で福祉サービスが享受できる市として、更なる発展を目指す。

スマイルサービスについて。

地域住民の自発的・主体的な活動を尊重しつつ、高齢者のニーズにそったスマイルサービスなど、地域の支え合い活動の活性化に向けた検討を進める。

生活困窮者の支援について。関係部局で連携し、対応について検討したい。

さくら会 井原慶一

さくら会 川名部実

さくら会 川名部実

さくら会 川名部実

さくら会 川名部実

さくら会 川名部実

じめも深刻な状況にある。発生防止、解決には教育関係者と保護者、社会が一体となって対処する必要がある。この際、教育長は自らの決意を市民に示すべきではないか。

「いじめは絶対に許さない」との決意のもとに事に当たっていく。

平和事業について

広報紙では核兵器廃絶運動のみが大きく取り上げられ、事業の一つの柱である戦没者追悼は全く報じられていない。11月の追悼式の様子や忠霊塔の存在をきちんと市民に知らせるべきである。

遺族の高齢化により風化することを懸念している。広報紙は善処する。

公明党 岡村芳樹

介護保険料改定平準化策の苦情

介護保険料見直しで前期比平均22%上昇した。納付について平準化を実施したと聞かすが、年金収入しかない高齢者にとり、この8月は他の月に比べ余りにも負担が大きく、中には今までの4倍にもなり、何とかならないかといった嘆きの声が多く聞かれた。市にも同様の苦情が複数寄せられたと聞く。

今後見直しとなる時期、実施方法と周知について改善の余地がある。今後どのような対策を講ずるか伺う。

8月に4・6月本来の保険料差額分と合わせ平準化を行い、1回で調整を行なった結果8月分の天引額が突出した。複数回で調整を行う平準化の方法等今後検討し、広報掲載記事の拡充、市HPの情報発信にも努める。

公明党 久野妙子

子ども・若者サポートについて

不登校やニートなど子ども・若者を取り巻く課題の中、乳幼児から就労に至るまで切れ目ない支援が必要と思うが、市民にわかりやすい相談体制の構築を行う考えはあるか伺う。

子ども・若者サポートについて

不登校やニートなど子ども・若者を取り巻く課題の中、乳幼児から就労に至るまで切れ目ない支援が必要と思うが、市民にわかりやすい相談体制の構築を行う考えはあるか伺う。

子ども・若者サポートについて

不登校やニートなど子ども・若者を取り巻く課題の中、乳幼児から就労に至るまで切れ目ない支援が必要と思うが、市民にわかりやすい相談体制の構築を行う考えはあるか伺う。

子ども・若者サポートについて

不登校やニートなど子ども・若者を取り巻く課題の中、乳幼児から就労に至るまで切れ目ない支援が必要と思うが、市民にわかりやすい相談体制の構築を行う考えはあるか伺う。

子ども・若者サポートについて

不登校やニートなど子ども・若者を取り巻く課題の中、乳幼児から就労に至るまで切れ目ない支援が必要と思うが、市民にわかりやすい相談体制の構築を行う考えはあるか伺う。

子ども・若者サポートについて

不登校やニートなど子ども・若者を取り巻く課題の中、乳幼児から就労に至るまで切れ目ない支援が必要と思うが、市民にわかりやすい相談体制の構築を行う考えはあるか伺う。

子ども・若者サポートについて

不登校やニートなど子ども・若者を取り巻く課題の中、乳幼児から就労に至るまで切れ目ない支援が必要と思うが、市民にわかりやすい相談体制の構築を行う考えはあるか伺う。

子供の成長に応じた支援に努めているが、更に関係機関とも調整を図り検討していく。

認定こども園について

一体改革において「幼保連携型」の認定こども園が拡充され、待機児童解消の方向性が示された。今後、民営化に向け、公募の考えはあるか伺う。

前向きに検討していく。

定員割れを起こしている市立佐倉幼稚園を、モデルケースに出来ないか伺う。

園舎の増改築等、諸要件が整えば具体化を図っていく。

高木大輔

介護ボランティア制度について

介護福祉施設、介護老人保健施設などの施設で、ボランティア登録をした高齢者が、活動ポイントを得て、当該ポイントを寄付や換金等する制度を全国約60カ所で行っている。佐倉市で導入した場合の問題は。

課題の多い制度であり、現状では実施は困難と考える。

元気な高齢者が高齢者を支える時代、予算が無くても地域活動の場を求めている。独自制度を研究し、安心して過ごせる制度導入などの環境整備を要する。

ソーシャルメディアを活用した情報発信として、武雄市が導入しているフェイスブックを活用した情報発信について。

利点と難点を分析し、運用方針などを研究していく。

公明党 小須田稔

地域ごとの豪雨対策は

洪水と内水のハザードマップをひとつにできないか。混乱するので難しいが、見やすいマップづくりに努めたい。

集中豪雨の一時避難場所を例えば表町の場合、駅前湯ばらだいに一時避難のお願いに地元が行っても構わないか。

一時避難としてお願いする時は市と協議をお願いしたい。

トレーニンング室の使え上手は

女性専用の筋力トレーニング施設が増えている。市民体育館のトレーニンング室も一新されたがその利用状況は。さらに女性が利用し易い取り組みは。

5月から7月までの3カ月間、男性1249人女性58人で圧倒的に男性が多い。今後は女性や初心者の方も利用し易いよう検討していく。

公明党 森野正

佐倉市の将来像について

佐倉市はどのような「まち」を目指しているのか。

中規模でも品価格のあるまちを目指したい。

市の自立可能な人口規模は。保健施設などの施設で、ボランティア登録をした高齢者が、活動ポイントを得て、当該ポイントを寄付や換金等する制度を全国約60カ所で行っている。佐倉市で導入した場合の問題は。

課題の多い制度であり、現状では実施は困難と考える。

元気な高齢者が高齢者を支える時代、予算が無くても地域活動の場を求めている。独自制度を研究し、安心して過ごせる制度導入などの環境整備を要する。

ソーシャルメディアを活用した情報発信として、武雄市が導入しているフェイスブックを活用した情報発信について。

利点と難点を分析し、運用方針などを研究していく。

公明党 森野正

佐倉市の将来像について

佐倉市はどのような「まち」を目指しているのか。

中規模でも品価格のあるまちを目指したい。

市の自立可能な人口規模は。保健施設などの施設で、ボランティア登録をした高齢者が、活動ポイントを得て、当該ポイントを寄付や換金等する制度を全国約60カ所で行っている。佐倉市で導入した場合の問題は。

課題の多い制度であり、現状では実施は困難と考える。

元気な高齢者が高齢者を支える時代、予算が無くても地域活動の場を求めている。独自制度を研究し、安心して過ごせる制度導入などの環境整備を要する。

ソーシャルメディアを活用した情報発信として、武雄市が導入しているフェイスブックを活用した情報発信について。

利点と難点を分析し、運用方針などを研究していく。

公明党 森野正

佐倉市の将来像について

佐倉市はどのような「まち」を目指しているのか。

中規模でも品価格のあるまちを目指したい。

市の自立可能な人口規模は。保健施設などの施設で、ボランティア登録をした高齢者が、活動ポイントを得て、当該ポイントを寄付や換金等する制度を全国約60カ所で行っている。佐倉市で導入した場合の問題は。

課題の多い制度であり、現状では実施は困難と考える。

元気な高齢者が高齢者を支える時代、予算が無くても地域活動の場を求めている。独自制度を研究し、安心して過ごせる制度導入などの環境整備を要する。

ソーシャルメディアを活用した情報発信として、武雄市が導入しているフェイスブックを活用した情報発信について。

利点と難点を分析し、運用方針などを研究していく。

公明党 森野正

佐倉市の将来像について

地域によって保育内容や指導員の賃金がバラバラになり、地域格差が生じるのではないか。

ガイドラインに準拠し、一定水準を維持するよう努める。

高齢者福祉について

特別養護老人ホームへの入所希望者は618人との事だが、すぐにでも入所したいと思っている人の数は把握できているか。

施設に直接申し込みがあるため正確な情報は把握していない。なお、希望者10人程度に声をかけて、入所者が決定するといった事例があると聞いている。

市道1-31号線(弥勒く瓜坪新田)と1-35号線(宮本)和田ふるさと館)の歩道整備が遅れている理由と今後の実施予定について伺う。

歩道整備の遅延理由は、当時使用できた事業債や臨時交付金が無くなり、財源不足のため中断している。今後は、補助事業の導入を視野に、整備に向けて検討していきたい。

市民ネットワーク 五十嵐智美

安心して子育てできるまちに

保育ママ制度は2歳未満の乳幼児を家庭環境で保育を行うもの。利用が少ないが現状は。

公立保育園との連携、保育料補助増額で利用しやすくした。

制度の改善が必要では。国のガイドラインに沿った制度改正の検討を進める。

公立学童保育の保育料値上げ、延長料金、夏休み加算も提案され負担増に。事前に保護者の意見聴取もなく、委員会審議のみで決定。問題と考えるが。

様々な立場の委員が審議し、委員長判断で採決した。

災害時に保護が必要な人の対策

要援護者名簿、支援プラン作成は早急な完成が重要。市が積極的に取り組むべき。如何か。

自主防災組織などの作成状況を把握し支援体制を強化する。

市民ネットワーク 大野博美

中小企業の活性化について

中小企業から返済猶予や金利引き下げ等の相談があった場合、それに応じる努力義務を金融機関に課す「中小企業金融円滑化法」が来年3月で期限が切れる。今後倒産の増加が懸念されるが、市内の状況はどうか。

円滑化法を利用して、14の企業が融資の条件変更を行った。それは制度融資を利用している企業の数で、市全体ではもっと多いはず。金融機関で調べればわかる。来年3月までに細やかな対策を立てるため、きちんと実態を把握するよう求める。

国民健康保険税は高すぎる

例えば所得200万円の4人家族の場合、年間の国保税は31万2600円となる。

所得の16%に当たる。払えない人には減免など救済策を。

公立保育園等の民営化問題について

民営化に向けたガイドラインの骨子内容は。

保育内容の充実、在園児への対応策、事業者の選定基準や移管条件等を具体的に明記する。

移管条件の内容は。

「保育基準」「施設基準」「財務基準」を大きな柱とする。

子ども心のケアを移管条件に入れるべきだ。

子どもが安心して継続して保育園に通える様、また、一つの園で継続した事業が出来る様、保育基準の中に明記していく。

いつガイドラインができ、保護者に説明、意見を聞くのか。

10月位までに案を作りたい。案が出来次第、保護者の方に意見を聞き、意見を聞く中で、見直しをする方針である。

佐倉市民オンブズマン 和田恵子

市職員の退職金の引き下げ

総務省は各自治体に対し、地方公務員の退職金も国家公務員の制度改正(14・9%引き下げ閣議決定)に準じて引き下げよう通知した。市はこの通知をいつ受けたか？引き下げへの取り組みは？市長は市職員の定年退職手当平均2758万円が民間と比べ高いと考えるか？

8月8日に受領。この通知は技術的な助言である。市町村総合事務組合で判断されるべき。学童保育料見直しについて

公立と民間との保育料の差の解消及び免除・減免制度適用の費用は1100万円を済む。副市長を二人に増やさず民間学童保育料の引き下げに使うのが市民や佐倉市のためでは？

施策実現のために、人件費を削る議論はすべきでない。

さくら会 為田浩

まちの安全安心と子どもたちの安全安心について

指定避難所となる小中学校等公共施設の建て替えを含む、補強工事や整備の方針を伺う。

避難所の防災機能の充実が重要な事と認識している。佐倉市としては、文科省の方針を受け、早期に耐震化を進めるため建て替え方式から、耐震補強方式へと重点を移したが、費用効果を十分に検討した上で施設ごとに対応していく。

市の青パト委託事業の復活と、地域での青パト登録件数増加の為の支援を望むが、見解は。

青パト委託事業については、犯罪発生時の推移を見守りながら警察等の関係機関と相談し、検討していく。地域に対しては新たな支援策を検討し、引き続き啓発に努めていく。

用語解説

※【ハザードマップ】

ハザードマップとは、自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図に示したものです。災害の発生が予測される地点、被害の拡大範囲および被害程度、さらには避難経路、避難場所などの情報が地図上に図示されており、災害発生時には迅速・的確に避難を行うことができるとされる。

指定避難所となる小中学校等公共施設の建て替えを含む、補強工事や整備の方針を伺う。

避難所の防災機能の充実が重要な事と認識している。佐倉市としては、文科省の方針を受け、早期に耐震化を進めるため建て替え方式から、耐震補強方式へと重点を移したが、費用効果を十分に検討した上で施設ごとに対応していく。

市の青パト委託事業の復活と、地域での青パト登録件数増加の為の支援を望むが、見解は。

青パト委託事業については、犯罪発生時の推移を見守りながら警察等の関係機関と相談し、検討していく。地域に対しては新たな支援策を検討し、引き続き啓発に努めていく。

用語解説

※【ハザードマップ】

ハザードマップとは、自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図に示したものです。災害の発生が予測される地点、被害の拡大範囲および被害程度、さらには避難経路、避難場所などの情報が地図上に図示されており、災害発生時には迅速・的確に避難を行うことができるとされる。



# 主な議案の概要

8月定例会では、市長及び議員からの提出議案など38件の議案について審議しました。

主な議案の内容は、議案第1号から第9号までは、平成23年度一般会計、特別会計及び水道事業会計の決算認定に係る議案です。議案第10号から第13号までは、平成24年度における各会計の補正予算に係る議案、議案第14号から第20号までは、条例の制定に係る議案、そして、議案第21号から第24号までは、佐倉市道路線の認定、変更に係る議案です。

## 【議案第十号 平成二十四年度佐倉市一般会計補正予算】

歳入歳出それぞれ4億6434万3000円を増額補正しようとするものです。これにより補正後の予算総額は、430億4925万3000円となります。

歳入の主なものは、市税、繰入金の減額と、地方交付税、国庫支出金、県支出金、前年度繰越金の増額です。歳出の主なものは、本庁舎保全事業、国庫支出金等返還経費、収納システム事業、子ども医療費助成事業などの増額、その他事業費確定に伴う減額です。

## 【議案第十九号 佐倉市立学童保育所設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例制定について】

学童保育所数や入所児童数の増及び開設時間の拡大に伴い運営費が増加していることから、受益と負担のバランスを考慮し、平成25年度から市立学童保育所の保育料を1000円引き上げ、月額7000円とし、8月のみ月額1万円に改定しようとするもの、新たに午前7時から午前8時までの延長保育料として月額5000円を加算し、8月のみ月額10000円を加算しようとするもの、新たに午後6時から午後7時までの延長保育料として月額10000円を加算しようとするものです。

## 【議案第二十六号 教育委員会委員の任命について】

現在、教育委員会委員である葛西広子（かさいひろこ）氏の任期が本年10月1日をもって満了となることから、再度、同氏を任命することについて、議会の同意を求めるものです。

## さくらしらべ

議案第1号と議案第9号  
平成23年度佐倉市一般会計歳入歳出決算等の認定について、賛成

平成23年度一般会計決算については、少子・高齢化の進展や景気低迷などの影響から、歳入の根幹である市税収入が約1.5%減少する中、事務事業を精査しつつ、福島第一原子力発電所の事故に伴う放射能対策として、食品放射能測定や除染工事を実施し、また大規模災害への備えとして、白井小学校や志津中学校校舎等の改築及び耐震補強工事を実施するなど、喫緊の課題に適切に対応した。

また、防災・減災対策、交通不便地域対策など、市民の安全・安心や市民生活の向上に向けた取り組みのほか、認知症対策や佐倉保育園と馬渡保育園の改築などの子育て・高齢者福祉施策の拡充も図られた。このほか、将来を見据えた社会資本整備や地域の産業・経済の活性化に向けた各事業についても、着実に進められたものと認められる。

また、議案第2号から議案第9号の特別会計等の決算についても、各会計全般を通じ、予算が目的に沿って適正かつ効率的に執行され、その効果も上がっていると認められる。

財政健全化への取組みについては、市債を約13億円減少させたほか、財政調整基金は約11億円増加させ、約67億円とするなど、財政健全化判断比率は、良好な数値を示している。

今後も市においては、喫緊の課題に、適切かつ迅速に取り組んでいくと共に、将来的な行政需要に対しても、的確な対応が図られるよう、引き続き、健全財政の維持、強化に努めることを求め、平成23年度決算認定について、賛成するものとした。

議案第10号  
平成24年度佐倉市一般会計補正予算について賛成

市の歳入については、その根幹となる個人市民税等の市税収入が減少する厳しい状況の中、子ども医療費助成枠の拡大、不活性化ポリオワクチンの導入、ひとり親家庭等自立支援事業の拡大といった子育て支援策をはじめ、公共施設の安全対策として、市庁舎の保全及び小学校施設耐震補強費用、並びに市税収納における利便性の向上を図るためのコンビニ収納を平成25年度から開始するための予算が計上された。

執行部においては、子育て支援の充実や市民生活の利便性の向上、さらには市民の安全・安心を確保するための施策を迅速かつ適切に対応しているものと認められることから、平成24年度佐倉市一般会計補正予算について、賛成するものとした。

## 公明党

議案第1号 一般会計歳入歳出決算認定に賛成

認定にあたっての意見要望。  
□決算説明資料は、より簡潔で要領を得たものとし、資料作りのための時間削減等を指すなど決算業務の効率化を図ること。  
□職員昇任試験の受験率減少が、市民サービスの低下にならないよう職員意識の高揚と職員の就業環境の改善を図ること。  
□高齢者・社会福祉活動に関し、現場の要望等を聞き、活動が後退しないよう努めること。

□道路維持改修について、震災や経年劣化によるものがあるが、災害に強いまちづくりと良好な生活環境の確保に向け、確実に取り組むこと。

## 議案第10号補正予算に賛成

□子ども医療費助成事業は、佐倉市が県の制度に上乗せして入院、通院とも中学3年生まで拡

充するための増額補正である。  
□小学校施設改築改修事業は、佐倉小学校の耐震補強工事の前倒しによる増額であり、学校耐震補強事業の100%早期達成を目指す大事な事業である。

市民サービスの向上と安心安全のまちづくりに必要な補正予算であると判断する。  
議案第19号学童保育所設置および管理に関する条例の一部を改正する条例制定に賛成

平成25年度から公立学童保育所の保育料を千円上げ、月額7千円とし、夏休み中の8月を月額1万円とするなどの改定を図り、現在、公立と比べ高額である民間学童保育所の保育委託料を大幅増額し、公立と私立の保育料の月額を同額とするものであり、市の保護者全体の受益と負担の公平を図るものである。

## 市民ネットワーク

①議案第1号②第10号③第19号に反対するおもな理由

①地下水を飲み続けたいという市民の願いに逆行する八ッ場ダム事業負担金・出資金と、死亡や失神により顔面骨折等二次被害報告が多数ある子宮頸がんワクチン接種への公費負担。臨時職員の比率が県内でも高く、雇用破壊になりかねない職員体制の問題点。長引く不況で要保護、準要保護家庭が毎年増加しているが、高校奨学金制度の利用が進んでいない。進学をサポートするため成績要件撤廃などの改善が必要。本庁舎耐震診断の黒川事務所一社随意契約問題、低入札や予定価格の適正化等の入札制度の問題を見直すべき。

②全小中学校用務員を人件費削減のために直接雇用から業務委託に切り替え、人選も業者任せである事は教育現場に適さない。

③学童保育料値上げは保護者に大きな負担となるが、事前の見聴取もなく決定した。

陳情第18号、第19号に賛成  
学童保育料値上げや指定管理者導入の子どもへの影響を懸念する保護者からの意見である。

## 佐倉市民オンブズマン

議案1号に反対。職員給与は約5760万円多く支給されている（地域手当が国基準より1%高く、各種手当へも跳ね返っている）。八ッ場ダムへの支出も税金の無駄遣い。一社入札が150件中24件あり、落札率が高止まりで、競争が働いていない。

議案19号に反対（関連の陳情18、19号に賛成）。本議案は、公立と民間の学童保育料の差を公立学童保育料の値上げで無くすもの。行政の責任転嫁の制度改悪の為反対。子育て支援は佐倉市の将来に係わる。保護者や市民の幅広い意見聴取が必要。

陳情17号に賛成。健全な市政運営、透明な議会運営に市民傍聴は必要不可欠。より良い傍聴環境を用意するのは議会の務め。

## みんなの党

議案第1号  
平成23年度佐倉市一般会計歳入歳出決算について賛成

平成23年度の決算においては、東日本大震災後の放射能除染対策、小中学校を中心とした耐震化対策等に一定の評価をするものである。今後は、こうした施策をさらに推進すると共に地域活性化、志津霊園区間の道路早期開通、通学路の安全対策等に万全を期すことを要望する。

議案第19号佐倉市学童保育所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について入所児童数の増加に対応し、持続可能な運営を目指す点、及び受益と負担のバランス、地域間の公平性の観点から賛成するものとした。

## 会派に属さない議員

高木大輔 議員

議案第10号 平成24年度佐倉市一般会計補正予算について

子ども医療費の拡大、志津地区の防犯カメラの設置、コンビニで納税できる収納システムの導入が実施できる事を評価する。これから編成される新年度の予算では「福祉力・地域力を結束し、子どもからお年寄りまで笑顔で安心、安全に暮らせる佐倉市政の実現」に向けての施策を要望する。

萩原陽子 議員

議案第1号 一般会計決算に反対  
黒字決算であるが、農林水産費、商工費への支出が減少し、融資制度の利用件数も額も大きく落ち込んでいる。見直しを求める。

議案第10号H24補正予算に反対  
学校用務員が全校委託になった。校長や教頭の指示で仕事のできる直接雇用に戻すべき。

富塚忠雄 議員

議案19号に反対する  
この議案は、公立学童保育所の保育料を平成25年4月から引き上げるものです。  
基本料金を千円引き上げて月額7千円に、夏休み期間では月額1万2千円にもなり、生活に大きな影響を与えます。

また、この引き上げ分を「内容改善」に使うのではなく「民間学童保育所の財政支援に回す」との事。本末転倒で許せない。さらに、指定管理者制度の移行もあり、反対します。



## 委員会報告

※議案は市長提出議案

### 総務常任委員会

《審査結果》

議案10	議案11	議案13	議案14	議案15	議案16
可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案17	議案25				
可決	可決				

開催日：平成24年9月10日／場所：第四委員会室

**議案8件について審査し、その結果は左表のとおりです。**

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ①コンビニエンスストアにおいて市税等の公金を納付することができるコンビニエンスストア収納関連予算は、利用者の利便性が高まり、税金等の収納率向上が期待できることから、導入に関しては賛成しますが、指定金融機関と業務契約を締結する際は、手数料などの契約事項を十分協議していただきたい。
- ②志津地区に防犯カメラ10台を設置する地域防犯活動推進事業は、防犯の抑止効果が期待できることから導入に関しては賛成しますが、カメラの情報を警察などに提供する際の取り決めを厳格に定め、情報漏えいや情報の目的外使用が絶対に起きないように仕組みを構築して頂きたい。さらに、防犯カメラ設置の効果を十分検証し、その結果を踏まえ、他の地区への設置についても検討されたい。
- ③本庁舎保全事業において、本庁舎1号館整備検討の基礎調査を実施するということですが、その結果を踏まえて改築を検討する場合には、市民の声が広く反映されるような運営をお願いしたい。
- ④個人市民税の減額については、当初予算の見込みより給与所得者の所得が少なかったことが主な要因でした。従って、佐倉市は、給与所得及び生産年齢人口の減少については、今後の重要課題として検討して頂きたい。

### 文教福祉常任委員会

《審査結果》

議案10	議案12	議案18	議案19	陳情16	陳情18
可決	可決	可決	可決	採択	不採択
陳情19					
不採択					

開催日：平成24年9月11日／場所：第三委員会室

**議案4件及び陳情3件について審査し、その結果は左表のとおりです。**

なお、審査の過程において、学校用務員の業務委託に関しては、大きく学校運営に関わってくることから、委託先の運営方法や雇用されている人の待遇、適性等について、市としてきちんと把握してもらいたいとの意見が出されました。

また、議案第19号、陳情第18号及び陳情第19号に関連する公立学童保育料の見直しについては、公立、民間の格差解消のために公立保育園の保育料を値上げするべきではないとする意見と、目的や保護者の負担率等を総合的に判断し、見直しの時期、金額等については適正な範囲であるとする意見が出されました。

### 経済環境常任委員会

《審査結果》

議案10	議案20
可決	可決

開催日：平成24年9月12日／場所：第二委員会室

**議案2件について審査し、その結果は左表のとおりです。**

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

観光振興に関する施策においては、市を訪れる方々のニーズの把握に努め、そのニーズに的確に対応していただくとともに、市全体の景観や社会資源の維持など、まちづくりの観点にも配慮したうえで、推進されるよう努められたい。産業振興施策、雇用などの経済対策に資する事業においては、国や県からの補助金を活用することも必要ではあるが、市が抱える課題や問題の解消に向けた市独自の施策の企画立案に積極的に取り組まれるよう期待する。

### 建設常任委員会

《審査結果》

議案10	議案21	議案22	議案23	議案24
可決	可決	可決	可決	可決

開催日：平成24年9月13日／場所：第一委員会室

**議案5件について審査し、その結果は左表のとおりです。**

### 議会運営委員会

《審査結果》

陳情17
不採択

開催日：平成24年9月12日／場所：第四委員会室

**陳情1件について審査し、その結果は左表のとおりです。**

なお、審査の過程において、陳情の趣旨は、「佐倉市議会基本条例」の考え方に沿ったものであり、当陳情を採択し、出来ることから改善すべきとの意見が出される一方、「佐倉市議会傍聴規則」は、市民の代表者である議員が、適正な判断を下すための環境維持も、その目的としており、改善の余地はあるものの全面的な改正は必要なしとする意見が出されました。

さらに、議会運営に係る陳情の取扱い方法の見直しに関する意見も出されており、必要に応じて、当委員会で協議していきたい。

## 11月定例会の予定 議会を傍聴してみませんか

- ◆議会運営委員会 11月20日(火)
- ◆初日 11月26日(月) 午後1時から
- ◆一般質問 12月3日(月)～6日(木)
- ◆常任委員会 12月10日(月)～13日(木)
- ◆最終日 12月17日(月) 午後1時から

☆日程は変更になることもありますので、詳細につきましては事務局までお問い合わせください。  
議会事務局 ☎ 484-6279

ケーブルネット296では、本会議(初日、一般質問、最終日)の様態を本会議が開催された翌日午後5時30分から放送します。

【地上デジタル10チャンネル、デジタルCATV301チャンネル】

## 佐倉市議会 第2回

### 「議会報告会・意見交換会」を開催します

日時 11月18日(日)午後1時30分から(午後1時開場)  
場所 佐倉市立中央公民館(大ホール他)

#### ■当日の予定

##### ①議会報告会

本年度に開催された会議において審議、協議した事項を対象に、委員会における審査状況などについて報告します。

##### ②意見交換会

多様な市民意見を拝聴し、議員活動の参考とさせていただくため、市民の皆さまの関心度が高いと思われるテーマについて、3つの分科会に分かれて意見交換させていただきます。



《昨年の議会報告会・意見交換会》

- 第1分科会 少子高齢社会へ対応するために
- 第2分科会 これからの産業振興のあり方
- 第3分科会 いま求められている防災対策

※事前申し込みは不要です。  
※終了時間は、午後4時頃を予定しております。

## 議会百景

開かれた議会を実現するために、11月18日に議会報告会を開催します。市は福祉、子育て、環境、教育問題など取り組む問題が山積しています。様々な問題解決に向けて地域の代表者である議員と、皆様の声を伝えてくださいます。議員として情報発信、情報共有化を行い活発な議論ができる議会を目指し、議員が一丸となって取り組んで参ります。

(広報公聴委員 高木大輔)

私は、この8月議会において、志津霊園本昌寺の移転先となる代替地を見学いたしました。

この代替地は、7月26日に完成し、佐倉市における長年の懸案事項である志津霊園問題の解決に向け、大きく前進したことになります。今後は、移転に反対している一部の方々との交渉が大変重要になると思われるが、一日でも早い道路の完成が望まれるところです。

(広報公聴委員 石渡康郎)